



Cisco MobilityManager ユーザ ガイド

Release 1.1

Text Part Number: OL-7888-01-J



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) パブリックドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービス マークです。Access Registrar、Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Cisco MobilityManager ユーザガイド

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



Contents

ユーザガイド	5
定義	6
ユーザ プロファイルの設定	7
Cisco MobilityManager へのアクセス	7
現在のプロファイルの表示	8
Allowed Caller フィルタの情報の追加	10
Blocked Caller フィルタの追加	12
リモート宛先の追加	14
詳細設定の変更	15
Allowed Caller フィルタと Blocked Caller フィルタの変更と削除	18
リモート宛先の変更、有効化、無効化、および削除	19
Mobile Connect コールへの応答	21
Mobile Connect コールのピックアップ	22
携帯電話による進行中のコールのピックアップ	22
デスクの電話によるコールのピックアップ	23
Mobile Voice Access の使用方法	24
Mobile Voice Access のメニュー オプション	25
Mobile Voice Access によるコールの発信	25
Mobile Connect の有効化	26
Mobile Connect の無効化	27
IP Phone サービスのカスタマイズ	28
その他の情報	29

技術情報の入手方法	29
Cisco.com	29
Product Documentation DVD (英語版)	29
マニュアルの発注方法 (英語版)	30
シスコシステムズマニュアルセンター	30
シスコ製品のセキュリティの概要	31
シスコ製品のセキュリティ問題の報告	31
テクニカル サポート	32
Cisco Technical Support Web サイト	32
Japan TAC Web サイト	33
サービス リクエストの発行	33
サービス リクエストのシビラティの定義	34
その他の資料および情報の入手方法	34

索引



ユーザガイド

Cisco MobilityManager は、Cisco CallManager 4.1 と連携して Mobile Connect 機能を提供する Computer Telephony Integration (CTI; コンピュータ / テレフォニー インテグレーション) アプリケーション サーバです。Mobile Connect 機能を使用すると、デスクの電話または携帯電話で着信コールに応答したり、接続を中断せずにデスクの電話または携帯電話で進行中のコールをピックアップしたり、携帯電話から企業の内線コールを発信したりできます。具体的には、次に示す操作を実行できます。

- デスクの電話または携帯電話で着信コールをピックアップする。着信コールがあると、デスクの電話と携帯電話で同時に呼び出し音が鳴ります。一方の回線に応答すると、コールが接続され、もう一方の電話の呼び出し音が停止します。
- コール中でも接続を中断せずに、デスクの電話と携帯電話との間でコールを切り替える。
- Cisco MobilityManager の Mobile Voice Access を使用して、企業内のデスクの電話を使用する場合と同様に、リモート電話から発信する。Mobile Voice Access は Integrated Voice Response (IVR; 統合音声応答) システムであり、Mobile Connect コールの発信および Mobile Connect 機能の有効化と無効化に使用されます。Mobile Voice Access を使用してコールを発信すると、コール中に接続を中断することなく、デスクの電話に切り替えたり元に戻したりできます。

次の項で、ユーザ プロファイルを設定する方法と Mobile Connect 機能の使用を開始する方法について説明します。

- [定義 \(P.6\)](#): このガイドで使用する用語と定義のリストを示します。
- [ユーザ プロファイルの設定 \(P.7\)](#): 使用している Mobile Connect のプロファイルの設定に必要なプロセスを要約します。
- [Mobile Connect コールへの応答 \(P.21\)](#): 着信コールに応答する方法を説明します。
- [Mobile Connect コールのピックアップ \(P.22\)](#): デスクの電話または携帯電話で進行中のコールをピックアップする方法を説明します。
- [Mobile Voice Access の使用方法 \(P.24\)](#): Mobile Voice Access を使用して Mobile Connect コールを発信する方法を説明します。
- [その他の情報 \(P.29\)](#): シスコのマニュアルの入手、シスコ製品のセキュリティ、テクニカル サポート、およびその他の資料に関する情報を提供します。

定義

表 1 に、このガイドで使用する重要な用語の定義を示します。

表 1 用語と定義

用語	定義
Allowed Caller フィルタ	指定のリモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らす、限定された電話番号のセット。
Blocked Caller フィルタ	リモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らさない電話番号のセット。
発信者番号	コールがリモートから発信された場合に着信した電話機の画面に表示される電話番号。リモート宛先レコードの一部として入力されます。
回線番号（内線）	Cisco CallManager のシステム管理者によって定義されたデスクの電話番号または内線番号。
Mobile Connect	デスクの電話または携帯電話で着信コールに応答する機能、接続を中断せずにデスクの電話または携帯電話で進行中のコールをピックアップする機能、および携帯電話から企業の内線コールを発信する機能を含む機能セット。
Mobile Voice Access	Integrated Voice Response (IVR; 統合音声応答) システム。Mobile Connect コールの発信および Mobile Connect 機能の有効化や無効化に使用されます。
リモート宛先	Mobile Connect による応答とピックアップに使用できる携帯電話。および Mobile Voice Access に到達するために使用されるロケーション。
リモート宛先番号	リモート宛先に到達するためにダイヤルされる実際の文字列。たとえば次のものがあります。 95551111 (< 外線発信番号、たとえば 9>< 電話番号 >) 914085552222 (< 外線発信番号、たとえば 9>1< 市外局番 >< 電話番号 >) 9011441234567890 (< 外線発信番号、たとえば 9>< 国際通話のアクセスコード、たとえば 011>< 国番号、たとえば 44>< 電話番号 >) 85553333 (< 企業タイライン アクセス番号、たとえば 8>< 電話番号 >)
ユーザプロフィール	ユーザアカウントを定義するレコードのセット。Mobile Voice Access のユーザ ID によって識別されます。

ユーザ プロファイルの設定

プロファイルを開いて管理するには、次のタスクを実行します。

1. User Configuration Profile ウィンドウを開く：P.7 の「Cisco MobilityManager へのアクセス」を参照してください。
2. 現在のプロファイル設定を確認する：P.8 の「現在のプロファイルの表示」を参照してください。
3. Allowed Caller フィルタまたは Blocked Caller フィルタを追加して、リモート宛先に到達できる電話番号のリストを制限する：P.10 の「Allowed Caller フィルタの情報の追加」および P.12 の「Blocked Caller フィルタの追加」を参照してください。
4. 携帯電話または他のリモート電話の回線をプロファイルに追加する：P.14 の「リモート宛先の追加」を参照してください。
5. Allowed Caller フィルタおよび Blocked Caller フィルタに対し、必要なその他の変更を行う：P.18 の「Allowed Caller フィルタと Blocked Caller フィルタの変更と削除」を参照してください。
6. リモート宛先に必要な変更を行う：P.19 の「リモート宛先の変更、有効化、無効化、および削除」を参照してください。

Cisco MobilityManager へのアクセス

次の Web ブラウザを使用して Cisco MobilityManager の Web ユーザ インターフェイスにアクセスできます。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降
- Netscape Navigator バージョン 7.2 以降

始める前に

デスクの電話の回線が Mobile Connect 用に設定されており、自分が Cisco CallManager のユーザ名とパスワードを知っていることを管理者と確認します。

Cisco MobilityManager を起動するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Microsoft Windows オペレーティング システムのブラウザを起動します。

ステップ 2 Web ブラウザのアドレス バーに次の URL を入力します。

`http://<MobilityManager Server>:8080/cmmuser`

`<MobilityManager Server>` は、Cisco MobilityManager サーバの名前または IP アドレスです。

ステップ 3 Cisco CallManager で使用する場合と同じユーザ名とパスワードを使用して、ログインします。

Cisco MobilityManager が起動します。ウィンドウの上部にあるメニューには、User Profile Configuration およびオンライン ヘルプシステムへのアクセスが表示されています。



(注) Cisco MobilityManager の Web ユーザ インターフェイスからログアウトするには、ブラウザ ウィンドウを閉じます。

現在のプロファイルの表示

Cisco MobilityManager のウィンドウで現在のプロファイルを表示するには、**Profile > View Profile** を選択します。プロファイル ウィンドウが開き、表 2 に示す情報が表示されます。

表 2 ユーザ プロファイルの情報

項目	説明
Status	デスクの電話が Mobile Connect 機能をサポートするように設定されているかどうかを示します。ステータスが Ready になっている場合、リモート宛先を設定できます。  (注) ステータスが Ready になっていない場合は、管理者に問い合せてください。
Mobile Voice Access User ID	Cisco MobilityManager プロファイルを一意に識別します。また、Mobile Voice Access へのログインにも使用します。
System Remote Access	Cisco MobilityManager が Mobile Voice Access をサポートするように設定されているかどうかを示します。
User Remote Access	プロファイルが Mobile Voice Access を使用できるように設定されているかどうかを示します。Mobile Voice Access を使用できるようにするには、System Remote Access を「On」に、User Remote Access を「Allowed」に設定します。

表2 ユーザ プロファイルの情報 (続き)

項目	説明
Line Number (Extension)	Cisco CallManager のシステム管理者によって定義されたデスクの電話番号または内線番号。
Remote Destinations Information	<p>リモート宛先の情報とリンク。たとえば次が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Remote destination number: リモート宛先に到達するためにダイヤルされる実際の文字列へのリンク。リモート宛先番号の例については、P.6の「定義」を参照してください。このリンクをクリックすると、Remote Destination Information ウィンドウが開きます。 • Mobile Connect On/Off: Mobile Connect サービスがリモート宛先に対してオンとオフのどちらになっているかを示します。 • Associated filter: Allowed Caller フィルタまたは Blocked Caller フィルタがリモート宛先に対して選択されているかどうかを示します。 • Add New ボタン: 新しいリモート宛先を定義します。
Allowed Caller Filter Information	<p>Allowed Caller フィルタの情報とリンク。たとえば次が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 定義できるユーザ定義フィルタの最大数(各フィルタには、指定のリモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らす電話番号が含まれています)。この値は管理者が設定するもので、User Profile Configuration ウィンドウでは変更できません。 • 選択された Allowed Caller フィルタ情報のレコードを開くリンクを含む定義済みフィルタのリスト。 • Add New ボタン: 新しい Allowed Caller フィルタを定義します。
Blocked Caller Filter Information	<p>Blocked Caller フィルタの情報とリンク。たとえば次が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ定義フィルタの最大数(各フィルタには、リモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らさない電話番号が含まれています)。この値は管理者が設定するもので、User Profile Configuration ウィンドウでは変更できません。 • 選択された Blocked Caller フィルタ情報のレコードを開くリンクを含む定義済みフィルタのリスト。 • Add New ボタン: 新しい Blocked Caller フィルタを定義します。

Allowed Caller フィルタの情報の追加

Allowed Caller フィルタは、指定のリモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らす、限定された電話番号のセットです。Mobile Connect コールに着信を指定の電話番号リストまたは電話番号カテゴリに制限する場合は、Allowed Caller フィルタを追加します。

たとえば、Mobile Connect コールの着信を、会社やワークグループ、または特定の同僚や家族からのものに制限する場合は、次の操作を実行します。

- コールを会社またはワークグループからのものに制限するには、ワイルドカードシンボルが付いた電話プレフィックスを使用して、408123* などのフィルタ番号を定義します。ワイルドカードは番号の先頭または末尾に付加できますが、両方に付加することはできません。たとえば、*408* という文字列は許可されていません。
- コールを特定の電話番号に制限するには、必要に応じて市外局番を付加して対象の電話番号を入力します。たとえば 1234567、4081234567、xxx1234567 のようになります。



(注) ユーザが Allowed Caller フィルタを追加できるかどうかは、システム管理者によって決定されます。追加できる場合は、定義できるフィルタの最大数も決定されます。各リモート宛先に対して、最大 1 つの Allowed Caller フィルタまたは Blocked Caller フィルタを適用できます。Allowed Caller フィルタと Blocked Caller フィルタを両方適用することはできません。

Allowed Caller フィルタを追加するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 Allowed Caller Filter Information の下の **Add New** をクリックします。

Allowed Caller Filter Information ウィンドウが開きます。



(注) 許可された最大数と同じ数のフィルタがプロファイルにすでに含まれている場合、Add New ボタンは表示されません。新しいフィルタを 1 つ含めるには、既存のフィルタを 1 つ削除する、フィルタを再定義する、許可されているフィルタの最大数を変更するよう管理者に依頼する、のいずれかを実行する必要があります。P.18 の「Allowed Caller フィルタと Blocked Caller フィルタの変更と削除」を参照してください。

ステップ 3 Mobile Connect Allowed Filter List Name フィールドに、フィルタを識別する名前を入力します。たとえば、ワーキンググループのメンバー用のフィルタを定義するには **workgroup** と入力します。

ステップ 4 Allowed Number フィールドに、フィルタに追加する電話番号を入力します。

X (大文字 / 小文字のどちらでも可) を数字 1 桁分のワイルドカードとして使用するか、* を一般的なワイルドカードとして使用します。たとえば、408123* は 408123 で始まる任意の番号と一致し、XXX1234567 はある 3 桁の数字の後に 1234567 が続く任意の番号と一致します。これらの規則の説明を表示するには **Show Info** をクリックし、説明を非表示にするには **Hide Info** をクリックします。



(注) アスタリスク (*) は、電話番号の先頭または末尾のいずれか一方だけに付加できません。両方に付加することはできません。たとえば、*408* は許可されていません。

ステップ 5 **add** をクリックして、フィルタ リストに番号を追加します。

- フィルタ リストにすでに存在する番号を置き換えるには、新しい番号を Mobile Connect Allowed Filter List Name フィールドに入力し、フィルタ リスト内の置換対象の番号を強調表示して **replace** をクリックします。
- フィルタ リストから番号を削除するには、その番号を強調表示して **delete** をクリックします。
- フィルタ リストにさらに番号を追加するには、ステップ 3 とステップ 4 を繰り返します。

ステップ 6 フィルタ リストへの番号の追加が終了したら、**Save** をクリックします。

関連トピック

- [Blocked Caller フィルタの追加 \(P.12\)](#)
- [リモート宛先の追加 \(P.14\)](#)

Blocked Caller フィルタの追加

Blocked Caller フィルタは、指定のリモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らさない電話番号のセットです。特定の電話番号または電話番号のカテゴリを着信コールのリモート宛先に到達させないようにする場合は、Blocked Caller フィルタを追加します。



(注) ユーザが Blocked Caller フィルタを追加できるかどうかは、システム管理者によって決定されます。追加できる場合は、定義できるフィルタの最大数も決定されます。各リモート宛先に対して、最大 1 つの Allowed Caller フィルタまたは Blocked Caller フィルタを適用できます。Allowed Caller フィルタと Blocked Caller フィルタを両方適用することはできません。

Blocked Caller フィルタを追加するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 Blocked Caller Filter Information の下の **Add New** をクリックします。

Blocked Caller Filter Information ウィンドウが開きます。



(注) 許可された最大数と同じ数のフィルタがプロファイルにすでに含まれている場合、Add New ボタンは表示されません。新しいフィルタを 1 つ含めるには、既存のフィルタを 1 つ削除する、フィルタを再定義する、許可されているフィルタの最大数を変更するよう管理者に依頼する、のいずれかを実行する必要があります。P.18 の「Allowed Caller フィルタと Blocked Caller フィルタの変更と削除」を参照してください。

ステップ 3 Mobile Connect Blocked Filter List Name フィールドに、フィルタを識別する名前を入力します。たとえば、作業に関連しないコール用のフィルタを定義するには **nonwork** と入力します。

ステップ 4 Blocked Number フィールドに、フィルタに追加する電話番号を入力します。

X (大文字 / 小文字のどちらでも可) を数字 1 桁分のワイルドカードとして使用するか、* を一般的なワイルドカードとして使用します。たとえば、408123* は 408123 で始まる任意の番号と一致し、XXX1234567 はある 3 桁の数字の後に 1234567 が続く任意の番号と一致します。

これらの規則の説明を表示するには **Show Info** をクリックし、説明を非表示にするには **Hide Info** をクリックします。



(注) アスタリスク (*) は、電話番号の先頭または末尾のいずれか一方だけに付加できません。両方に付加することはできません。たとえば、*408* は許可されていません。

ステップ 5 add をクリックして、フィルタ リストに番号を追加します。

- フィルタ リストにすでに存在する番号を置き換えるには、新しい番号を Mobile Connect Blocked Filter List Name フィールドに入力し、フィルタ リスト内の置換対象の番号を強調表示して **replace** をクリックします。
- フィルタ リストから番号を削除するには、その番号を強調表示して **delete** をクリックします。
- フィルタ リストにさらに番号を追加するには、ステップ 3 とステップ 4 を繰り返します。

ステップ 6 フィルタ リストへの番号の追加が終了したら、**Save** をクリックします。

関連トピック

- [Allowed Caller フィルタの情報の追加 \(P.10\)](#)
- [リモート宛先の追加 \(P.14\)](#)

リモート宛先の追加

リモート宛先（リモート携帯電話の番号または他の電話番号）は、プロファイルに示されている最大数に達するまで追加できます。リモート宛先を追加すると、その電話回線を使用して、デスクの電話とリモートの電話との間でコールを切り替えたり、Mobile Voice Access を使用してコールを発信したりできるようになります。

リモート宛先を追加するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 Remote Destination Information の下の **Add New** をクリックします。

Remote Destination Configuration ウィンドウが開きます。



(注) 許可された最大数と同じ数のリモート宛先がプロファイルにすでに含まれている場合、Add New ボタンは表示されません。新しいリモート宛先を 1 つ含めるには、既存のリモート宛先を 1 つ削除する、宛先を再定義する、許可されているリモート宛先の最大数を増やすよう管理者に依頼する、のいずれかを実行する必要があります。P.19 の「リモート宛先の変更、有効化、無効化、および削除」を参照してください。

ステップ 3 Remote Destination Number フィールドに、デスクの電話から番号をダイヤルする場合と同様に、リモート宛先の電話番号を入力します。例については、P.6 の「定義」の「リモート宛先番号」を参照してください。

ステップ 4 Caller ID フィールドに、携帯電話からのコールに表示される発信者番号を入力します。コールが発信されると、発信者番号が検出され、携帯電話で呼び出し音が鳴ることなく、デスクの電話にコールが誘導されます。Cisco Mobile Voice Access にコールする場合も、発信者番号が自動的に検出され、ユーザにはパスワードの入力だけが求められます。たとえば、4085551212（国内通話）または 44123456（国際通話）のように入力します。

ステップ 5 Mobile Connect On/Off プルダウン リスト ボックスで **On** を選択し、このリモート宛先について Mobile Connect サービスをオンにします。

ステップ 6 リモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らす電話番号を制限する場合は、Associated Allowed Caller Filter プルダウン リスト ボックスからフィルタを選択します。リモート宛先で着信コールの呼び出し音を鳴らさない電話番号を指定する場合は、Associated Blocked Caller Filter プルダウン リスト ボックスからフィルタを選択します。あるタイプのフィルタを選択すると、他のタイプのフィルタのプルダウン リスト ボックスが自動的にディセーブルになります。

ステップ 7 タイマーの詳細設定を変更するには、Advanced Settings をクリックして、P.15 の「詳細設定の変更」の手順に従います。

ステップ 8 Save をクリックします。

関連トピック

- [Allowed Caller フィルタの情報の追加 \(P.10\)](#)
- [Blocked Caller フィルタの追加 \(P.12\)](#)
- [詳細設定の変更 \(P.15\)](#)

詳細設定の変更

詳細設定は、リモート デバイスによるコールの呼び出しやピックアップに関するタイマーの制御に使用できます。Mobile Connect 機能を使用する場合は、これらの設定を変更する必要はありません。



(注) 詳細設定を変更する場合は、まずシステム管理者に相談してください。

詳細設定を変更するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 設定するリモート宛先の下線付きリンクをクリックします。

Remote Destination Configuration ウィンドウが開きます。

ステップ 3 Advanced Settings をクリックします。

ウィンドウが拡大し、使用できる設定が表示されます。

ステップ 4 表 3 のフィールドの説明に基づいて設定を変更します。<System Default> を選択すると、リモート宛先は管理者が設定したグローバル設定を使用します。

ステップ 5 Save をクリックします。

これで、選択したリモート宛先の詳細設定が有効になります。

表 3 に詳細設定の内容を示します。

表 3 詳細設定

フィールド	説明
Max Pickup Timer/sec	<p>コールがデスクの電話から携帯電話に切り替えられたときにコールが携帯電話で応答されるまでの最大待機時間を設定するには、Enable を選択します。</p> <p>携帯電話で応答されるまで待機する時間に制限を設定しない場合は、Disable を選択します。</p> <p>このタイマーにシステムのデフォルト値を使用するには、<System Default> を選択します。</p> <p>Enable を選択した場合は、コールがデスクの電話から切り替えられたときに携帯電話でピックアップされるまで待機可能な最大秒数を入力します。リモートデバイスが指定時間内に応答しない場合、コールは接続解除されます。値の範囲は 1.000 ~ 300.000 です。デフォルトは 20.000 秒です。</p>

表3 詳細設定(続き)

フィールド	説明
Max Ring Timer/sec	<p>コールがデスクの電話に戻る前に携帯電話で呼び出し音が鳴る最大時間を設定するには、Enable を選択します。このオプションを選択すると、コールが携帯電話のボイスメール システムに誘導される前にデスクの電話に戻るようにタイマーを設定できます。</p> <p>携帯電話で呼び出し音が鳴る時間の長さに制限を設定しない場合は、Disable を選択します。</p> <p> (注) この設定をディセーブルにすると、ボイスメールは企業のボイスメールではなく携帯電話のボイスメールに残ります。</p> <p>このタイマーにシステムのデフォルト値を使用するには、<System Default> を選択します。値が表示されます。</p> <p>Enable を選択した場合は、コールがデスクの電話に戻る前に携帯電話で呼び出し音が鳴る最大時間を入力します。値の範囲は 1.000 ~ 300.000 です。デフォルトは 19.000 秒です。</p>
Min Ring Timer/sec	<p>コールがデスクの電話に戻らずに携帯電話でピックアップされるために携帯電話で呼び出し音が鳴る最小時間を設定するには、Enable を選択します。最小時間を設定することにより、コールが携帯電話のボイスメールに切り替えられないように制御できます。</p> <p>携帯電話で呼び出し音が鳴る時間の長さに制限を設定しない場合は、Disable を選択します。</p> <p> (注) この設定をディセーブルにすると、ボイスメールは企業のボイスメールではなく携帯電話のボイスメールに残ります。</p> <p>このタイマーにシステムのデフォルト値を使用するには、<System Default> を選択します。値が表示されます。</p> <p>Minimum Destination Ring Timer で Yes を選択した場合、コールがデスクの電話に戻らずに携帯電話でピックアップされるために携帯電話で呼び出し音が鳴る最小時間を設定します。</p> <p>値の範囲は 1.000 ~ 10.000 です。デフォルトは 1.500 秒です。</p>

Allowed Caller フィルタと Blocked Caller フィルタの変更と削除

既存の Allowed Caller フィルタまたは Blocked Caller フィルタを変更するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 変更する Allowed Caller フィルタまたは Blocked Caller フィルタの下線付きリンクをクリックします。

フィルタ情報ウィンドウが開きます。

ステップ 3 次の変更を行います。

- 新しい番号をリストに追加するには、Allowed Number フィールドまたは Blocked Number フィールドにその番号を入力し、**add** をクリックします。

X または x を数字 1 桁分のワイルドカードとして使用するか、* を一般的なワイルドカードとして使用します。たとえば、408123* は 408123 で始まる任意の番号と一致し、XXX1234567 はある 3 桁の数字の後に 1234567 が続く任意の番号と一致します。これらの規則の説明を表示するには **Show Info** をクリックし、説明を非表示にするには **Hide Info** をクリックします。

- フィルタ リストにすでに存在する番号を置き換えるには、許可する番号またはブロックする番号を入力し、フィルタ リスト内の置換対象の番号を強調表示して **replace** をクリックします。
- フィルタ リストから番号を削除するには、その番号を強調表示して **delete** をクリックします。

ステップ 4 **Save** をクリックします。

Allowed Caller フィルタまたは Blocked Caller フィルタを削除するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 対象のフィルタの下線付きリンクをクリックします。

フィルタ情報ウィンドウが開きます。

ステップ 3 **Delete** をクリックします。

ステップ 4 確認のために **OK** をクリックします。

リモート宛先の変更、有効化、無効化、および削除

既存のリモート宛先の設定を変更するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 ウィンドウの下部にある既存のリモート宛先の下線付きリンクをクリックします。

Remote Destination Configuration ウィンドウが開きます。

ステップ 3 必要に応じて、リモート宛先番号または Mobile Connect ステータスを変更します。

ステップ 4 必要に応じて **Advanced Settings** をクリックして、リモート デバイスによるコールの呼び出しやピックアップに関するタイマー設定を変更します。

ステップ 5 **Save** をクリックします。

リモート宛先を有効または無効にするには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 ウィンドウの下部にある既存のリモート宛先の下線付きリンクをクリックします。

Remote Destination Configuration ウィンドウが開きます。

ステップ 3 Mobile Connect プルダウン リスト ボックスから **On** または **Off** を選択します。

ステップ 4 **Save** をクリックします。

リモート宛先を削除するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager ウィンドウで、**Profile > View Profile** を選択します。

ステップ 2 ウィンドウの下部にある既存のリモート宛先の下線付きリンクをクリックします。

Remote Destination Configuration ウィンドウが開きます。

ステップ 3 **Delete** をクリックします。

ステップ 4 確認のために **OK** をクリックします。

Mobile Connect コールへの応答

プロファイルを設定し、プロファイルに含めたりリモート宛先をオンにしたら、Mobile Connect 機能を使用できるようになります。

発信者によってデスクの電話がダイヤルされると、デスクの電話と設定済みリモート宛先の電話の両方で呼び出し音が鳴ります。呼び出し音が鳴っているいずれのデバイスでもコールに応答できます。コールに応答するとすぐに、その他の電話では呼び出し音が停止して接続解除されます。

Mobile Connect コールのピックアップ

この項では、携帯電話または Cisco IP Phone 79xx シリーズでコールをピックアップする方法について説明します。Mobile Voice Access を使用してリモート宛先から Mobile Connect コールを発信する方法の詳細については、P.25 の「[Mobile Voice Access によるコールの発信](#)」を参照してください。

携帯電話による進行中のコールのピックアップ

デスクの電話でコールを発信した、またはコールに応答した場合は、接続を中断せずに携帯電話でそのコールをピックアップできます。

進行中のコールを携帯電話でピックアップするには、次の手順に従います。



(注) 電話機の画面表示やボタンの機能の一般的な説明については、使用している IP Phone の説明書を参照してください。

手順

ステップ 1 デスクの電話機にある Services ボタンを押します。

サービスのリストが画面に表示されます。

ステップ 2 上向き矢印と下向き矢印を使用して、Mobile Connect サービスを選択します。

ステップ 3 Select を押して Mobile Connect を選択します。

ステップ 4 Pick-up を押します。

設定済みのすべてのリモート宛先電話で呼び出し音が鳴ります。

ステップ 5 目的のリモート宛先電話（携帯電話）で応答します。

ステップ 6 デスクの電話機で Hold を押します。

これで、携帯電話で会話を開始できます。

デスクの電話機の画面に「In Use Remote」というラベルが表示されます。デスクの電話の回線は、1つのコールが進行している間は他のコールに利用できません。ただし、デスクの電話が複数回線をサポートしている場合は、電話に割り当てられている他の回線を使用して別のコールを発信または受信できます。

デスクの電話によるコールのピックアップ

有効なりモート宛先としてリストに指定した携帯電話からコールを発信している場合、または携帯電話であらかじめコールをピックアップしている場合は、接続を中断せずに、デスクの電話でコールをピックアップできます。



(注) デフォルトでは、携帯電話を切った後、コールはデスクの電話で 10 秒間保留のままになります。

コールをデスクの電話でピックアップするには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 デスクの電話機に「In Use Remote」と表示されていることを確認します。必要に応じて、回線のキーを押して現在の表示を確認します。

ステップ 2 コールを終了する場合と同様に、携帯電話の **End Call** ボタンを押します。

携帯電話とコールとの間の接続は解除されますが、コール自体は接続解除されません。

ステップ 3 デスクの電話機で **Resume** を押します。

ステップ 4 デスクの電話機を使用して会話を開始します。

Mobile Voice Access の使用方法

Mobile Voice Access を使用すると、リモート宛先から企業の電話システムに到達できます。

始める前に

Mobile Voice Access にアクセスするには、次の情報を入手する必要があります。

- Mobile Voice Access の電話番号
- Mobile Voice Access のユーザ ID (使用しているユーザ プロファイルのもの)
- Cisco CallManager の PIN

Mobile Voice Access を使用して次の操作を実行できます。

- リモート宛先から Mobile Connect コールを発信する : P.25 の「[Mobile Voice Access によるコールの発信](#)」を参照してください。
- Mobile Connect 機能をオンまたはオフにする : P.26 の「[Mobile Connect の有効化](#)」を参照してください。

Mobile Voice Access を使用するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 任意の電話から、割り当てられた Mobile Voice Access 電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、Mobile Voice Access のユーザ ID と PIN を入力します。



(注)

設定済みのいずれかのリモート宛先から Mobile Voice Access にダイヤルすると、ユーザ情報が自動的に識別され、PIN のみを入力するよう求められます。設定していないリモート宛先、または他の Mobile Connect ユーザと共有しているリモート宛先からこのアプリケーションにアクセスする場合は、Mobile Voice Access のユーザ ID と PIN の両方を入力するよう求められます。



(注)

誤った PIN を 3 度連続して入力すると、Mobile Voice Access コールは接続解除され、発信者は指定の期間ロックアウトされます。ロックアウト期間が終わる前に Mobile Voice Access にダイヤルしようとする、管理者に問い合わせよう指示するメッセージが表示されます。

ID が確認されると、メイン メニューが表示されます。

Mobile Voice Access のメニュー オプション

表 4 に Mobile Voice Access のメニュー オプションを示します。

表 4 Mobile Voice Access のメニュー オプション

メニュー オプション	説明
1	コールを発信します。使用しているアカウントでユーザ リモート アクセスが許可されていない場合、システム管理者にサポートを求めるよう指示するプロンプトが表示されます。
2	Mobile Connect オプションをオンにします。
3	Mobile Connect オプションをオフにします。
*	終了するか、前のメニューに戻ります。

Mobile Voice Access によるコールの発信

Mobile Voice Access を使用すると、設定したどのリモート宛先からでも Mobile Connect コールを発信できます。このようにコールを発信する場合、デスクの電話を使用してコールを発信したりコールに回答したりするときと同様に、Mobile Connect の切り替え機能を利用できます。

Mobile Voice Access を使用してコールを発信するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 任意の電話から、Mobile Voice Access へのアクセスに割り当てられている電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、Mobile Voice Access のユーザ ID と PIN を入力します。デスクの電話または認識されているリモート宛先からダイヤルしている場合は、PIN の入力のみが求められます。

ID が確認されると、メイン メニューが表示されます。

ステップ 3 1 を押します。

ステップ 4 コールを発信できることが Mobile Voice Access で確認されます。確認が終了すると、「Enter the number you want to make a call.」というメッセージが表示されます。

ステップ 5 デスクの IP Phone を使用する場合と同様に番号をダイヤルします（企業プレフィックスと市外局番を含めます）。例については、P.6 の「定義」の「リモート宛先番号」の説明を参照してください。

Mobile Connect の有効化

Mobile Voice Access にコールして、Mobile Connect をオンにできます。

Mobile Connect をオンにするには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 任意の電話から、Mobile Voice Access へのアクセス用に提供されている電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、Mobile Voice Access のユーザ ID と PIN を入力します。デスクの電話または認識されているリモート宛先からダイヤルしている場合は、PIN の入力のみが求められます。

ID が確認されると、メインメニューが表示されます。

ステップ 3 2 を押して、Mobile Connect 機能をオンにします。

ステップ 4 設定されているリモート宛先が 1 つだけの場合は、そのリモート宛先でオンにすることが確認されます。複数のリモート宛先が設定されている場合は、1 つのリモート宛先についてこの機能をオンにするか、すべてのリモート宛先についてオンにするかを選択できます。有効なリモート宛先がない場合は、メッセージが表示されます。

1 つのリモート宛先について設定するには、次の手順に従います。

- a. プロンプトが表示されたら 1 を入力します。
- b. デスクの電話からダイヤルする場合と同様に、宛先の電話番号を入力してから # を入力します。例については、P.6 の「定義」の「リモート宛先番号」の説明を参照してください。

入力した番号が有効なりモート宛先の場合、Mobile Connect をオンにすることが確認されます。入力した電話番号がリモート宛先ではない場合、もう一度番号を入力するように求められます。誤った番号を 3 度連続して入力すると、指定の期間 Mobile Voice Access からロックアウトされます。ロックアウト期間が終わる前にアプリケーションにアクセスしようとする、管理者に問い合わせよう指示するメッセージが表示されます。

プロンプトが表示されたら、すべてのリモート宛先に対して 2 を入力します。すべてのリモート宛先でオンにすることが確認されます。

Mobile Connect の無効化

Mobile Voice Access にコールして、Mobile Connect をオフにできます。

Mobile Connect をオフにするには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 任意の電話から、Mobile Voice Access へのアクセス用に提供されている通話料無料の電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、Mobile Voice Access のユーザ ID と PIN を入力します。デスクの電話または認識されているリモート宛先からダイヤルしている場合は、PIN の入力のみが求められます。

ID が確認されると、メインメニューが表示されます。

ステップ 3 3 を押して、Mobile Connect 機能をオフにします。

ステップ 4 設定されているリモート宛先が 1 つだけの場合は、そのリモート宛先でオフにすることが確認されます。複数のリモート宛先が設定されている場合は、この機能を 1 つのリモート宛先またはすべてのリモート宛先についてオフにできます。有効なりモート宛先がない場合は、メッセージが表示されます。

1 つのリモート宛先について設定するには、次の手順に従います。

a. プロンプトが表示されたら 1 を入力します。

- b. 宛先の電話番号を入力して、次に # を入力します。入力した番号が有効なりモート宛先の場合、Mobile Connect をオフにすることが確認されます。入力した電話番号がリモート宛先ではない場合、もう一度番号を入力するように求められます。誤った宛先番号を入力すると、正しい番号を入力するように求められます。誤った番号を 3 度連続して入力すると、指定の期間 Mobile Voice Access からロックアウトされます。

すべてのリモート宛先について設定するには、次の操作を実行します。

プロンプトが表示されたら 3 を入力します。すべてのリモート宛先でオフにすることが確認されます。

IP Phone サービスのカスタマイズ

Cisco CallManager User Option ページを使用すると、Mobile Connect サービスへの登録や登録解除を行うことができます。詳細および手順については、次の URL で『*Customizing Your Cisco IP Phone on the Web*』を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/english/ipp7960/usopt.pdf

その他の情報

この項では、シスコのマニュアルの入手、シスコ製品のセキュリティ、テクニカル サポート、およびその他の資料に関する情報を提供します。

技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。また、テクニカル サポートおよびその他のリソースを、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

Product Documentation DVD (英語版)

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Product Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Product Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。

Product Documentation DVD は、技術情報を包含する製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した、包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、シスコ製の各ハードウェアやソフトウェアのインストール、コンフィギュレーション、およびコマンドに関する複数のバージョンのマニュアルにアクセスし、技術情報を HTML で参照できます。また、この DVD を使用すると、シスコの Web サイトで参照できるのと同じマニュアルに、インターネットに接続せずにアクセスできます。一部の製品については、PDF 版のマニュアルもご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、1 回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ (Cisco Direct Customers) の場合、Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (Product Number DOC-DOCDVD=) を発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法 (英語版)

2005 年 6 月 30 日以降、Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store からシスコ製品の英文マニュアルを発注できるようになっています。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル (英文のみ) を無料で提供しています。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトは、次の目的に利用できます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告および注意事項の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、次の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードにアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合 : security-alert@cisco.com (英語のみ)
緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている場合、または至急の対応を要する重大なセキュリティ上の脆弱性が報告されている場合を指します。これに該当しない場合はすべて、緊急でないと思なされます。
- 緊急でない場合 : psirt@cisco.com (英語のみ)

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 (英語のみ)
- 1 408 525-6532 (英語のみ)



ヒント

シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP (Pretty Good Privacy) または互換製品を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 8.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションからリンクできます。次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページ上のリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできません。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、シスコと正式なサービス契約を交わしているお客様には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco Technical Support Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間、いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

**(注)**

Web または電話でサービス リクエストを発行する前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して製品のシリアル番号を確認してください。CPI ツールには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトから、Documentation & Tools の下の Tools & Resources リンクをクリックするとアクセスできます。アルファベット順の索引ドロップダウン リストから Cisco Product Identification Tool を選択するか、Alerts & RMAs の下の Cisco Product Identification Tool リンクをクリックします。CPI ツールには、3 つの検索オプションがあります。製品 ID またはモデル名による検索、ツリー表示による検索、show コマンド出力のコピー アンド ペーストによる特定製品の検索です。検索結果では、製品が図示され、シリアル番号ラベルの位置が強調表示されます。ご使用の製品でシリアル番号ラベルを確認し、その情報を記録してからサービス コールをかけてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3 : ネットワークに軽微な障害が発生した、S4 : 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、シスコのエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1 : ネットワークがダウンした、S2 : ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、シスコのエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1): ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストレーション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、マニュアル、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』はシスコシステムズが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンライン サービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』は、シスコシステムズの季刊誌で、成長企業が収益を上げ、業務を効率化し、サービスを拡大するためには技術をどのように利用したらよいかを学べるように構成されています。本誌では、実例とビジネス戦略を挙げて、成長企業が直面する問題とそれを解決するための技術を紹介し、読者が技術への投資に関して適切な決定を下せるよう配慮しています。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

デジタル版には、次の URL からアクセスできます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品、および各種のカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は対話形式の Web サイトです。このサイトでは、ネットワーキング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報をネットワーキング担当者がシスコの専門家や他のネットワーキング担当者と共有できます。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>



Index

A

Allowed Caller フィルタ

- 規則 10
- 削除 19
- 追加 10
- 定義 6
- プロファイル 9
- 変更 18
- リモート宛先レコード 15
- ワイルドカード 10

B

Blocked Caller フィルタ 9

- 削除 19
- 追加 12
- 定義 6
- 変更 18
- リモート宛先レコード 15
- ワイルドカード 13

C

Cisco CallManager 5

Cisco MobilityManager

- アクセス、Web ブラウザを使用して 7
- 機能 5

ログイン 8

Cisco.com 29

I

IP Phone サービス 28

IVR システム 5

M

Maximum Pickup Timer 16

Maximum Ring Timer 17

Minimum Ring Timer 17

Mobile Connect

応答、コールへの 21

オン / オフ 14

定義 6

ピックアップ、コールの 22

Mobile Voice Access

アクセス 24

オンまたはオフ 25

説明 5

定義 6

始める前に 24

発信、コールの 25

メニュー オプション 25

ユーザ ID 24

P	資料と情報	34
PIN		24
お	定義	6
応答、コールへの	テクニカル サポート	32
	デスクの電話によるピックアップ	23
か	と	
回線番号	登録または登録解除	28
定義		6
プロフィール		9
き	な	
技術情報	内線	6
入手	は	
	パスワード	8
け	発信、コールの	25
携帯電話によるピックアップ	発信者番号	6
	リモート宛先の	14
さ	ひ	
サービス リクエスト	ピックアップ、コールの	22
サポートされているブラウザ		7
し	ふ	
シスコ製品のセキュリティ	ブラウザのサポート	7
詳細設定	プロフィール	9
追加	Allowed Caller フィルタ	9
表	Blocked Caller フィルタ	9
	設定	7

定義 6
リモート宛先 9

ゆ

ユーザ プロファイル 6
ユーザ名 8

り

リモート宛先
削除 20
詳細設定 15
追加 14
定義 6
プロフィール内 9
変更 19
有効化または無効化 20
リモート宛先番号 6

わ

ワイルドカード 10, 13